

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
景観・環境	ある媒体の調査で見たSDGs（持続可能な開発目標）先進度に関する調査で西宮市は総合では全国42位だが、環境のことで76位だった。省エネがなかなか徹底できていない。西宮市として庁舎内など率先して取り組んでほしい。	市役所においても、空調温度の適温化や照明器具の間引きなどの省エネに取り組んでいます。引き続き、西宮市地球温暖化対策実行計画に沿って省エネを推進していきます。	大社公民館
景観・環境	気候変動による温度上昇や光化学スモッグ、オキシダント、Nox、浮遊粒子状物質などへの市の対応についてはどうなっているか。	光化学スモッグ注意報等が発令された場合に備え、庁内関係部署を通じて学校園や公共施設等への連絡体制を整備しています。また、発令時には「にしのみや防災ネット」の登録者へのメール配信や市ホームページ「にしのみやのそら」にて発令状況をリアルタイムに掲載しています。市ホームページ「にしのみやのそら」では、市内11か所で測定している大気汚染物質の結果をリアルタイムで公表しています。特にオキシダント濃度やPM2.5濃度については、5分おきにデータ公表しています。	瓦木公民館
景観・環境	名神湾岸連絡線により、名神から大阪方面にもつながる。西宮でもかなりの交通量の増加が予想されるが、浜甲子園団地の沖合の湾岸道路には遮音壁がない。国の事業ではあるが、今の住環境を守るために市にも働きかけをお願いしたい。	阪神高速5号湾岸線等につきましては、阪神高速道路株式会社により毎年騒音測定を実施しており、これまで昼間・夜間ともに環境基準を下回っておりますが、名神湾岸連絡線の整備により交通状況の変化が予想されることから、引き続き注視してまいります。	鳴尾中央センター
景観・環境	兵庫医科大学平成記念会館前から小曾根線に至る間に30本の街路樹が植えられているが、現在10本の街路樹が枯れている状況である。とりあえずの処置として枯れているものは早急に撤去してほしい。上記以外の区間についても、調査対応してほしい。	阪神本線高架下側道で植栽した街路樹は植栽範囲全体の生育状況を確認し、枯死や生育不良が見られた樹木の植替えを令和元年6月に行いました。今後、良好に生育するよう、適正な維持管理に努めてまいります。	鳴尾中央センター
景観・環境	御前浜はバーベキューが禁止されていない。土日は年中臭いと煙で大変である。夏は花火もある。10時以降は条例で大きな音の花火は禁止になっているが、条例でバーベキューと花火は禁止してほしい。西宮浜の北岸に有料のバーベキューエリアを作ればよい。	<p>（1）バーベキューの禁止について</p> <p>現時点においては禁止するのではなく、課題解決に向けて下記の対策を進めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの持ち帰りや炭ゴミ放置の禁止の啓発活動の強化について ・警備員による巡回を強化し、啓発活動やゴミ問題の改善に取り組みます。 ・禁止区域の設定について <p>地元自治会やボランティア団体と調整しながら、禁止区域の設定を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場付近における渋滞防止対策について ・警備員を増員して西宮浜駐車場への誘導を行うなど、渋滞の防止に努めます。 ・西宮浜北岸におけるバーベキュー場の設置について <p>現在、整備を進めている西宮浜総合公園の計画と併せて検討します。</p> <p>（2）花火の禁止について</p> <p>御前浜・香櫛園浜は花火禁止重点区域に指定して、大きな音の出る迷惑花火を終日禁止としています。また、手持ち花火などについても、夜10時以降は禁止としています。さらに夏休み期間中は警備員による夜間の巡回パトロールを行うなど、対策を継続します。</p>	香櫛園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
廃棄物・ゴミ	ごみステーション用のカラス避けネットの補助はあるが、西宮市が推奨する「カラスいけいけ」の補助がない。補助してほしい。	ごみステーションの維持管理は利用者に委ねており、カラス除けネットや折り畳み式ネットボックス等の配布や購入費の一部補助は実施していません。	塩瀬公民館
廃棄物・ゴミ	カラスが網をかけてもごみを散らかすので見た目が悪い。道路、屋根、いろんな所にフンをする。市で対応できないか。地域でできることがあれば教えて欲しい。	カラスは、鳥獣保護法により、鳴き声がうるさい、迷惑だからといってむやみに捕まえることはできません。 西宮市では現在、カラスの駆除そのものは行っておりませんが、タカによるカラスの追払いを実施しております。 ごみステーションにおけるカラス被害を防止するためには、ごみ出しルールの遵守、生ごみの水切りを徹底し、新聞紙で包むなどして、生ごみが発見されにくい工夫や、利用世帯数に応じた適切なサイズのネットを用いてごみ袋を包み込むように網をかけ、網の周りを重りで押さえるなどしてください。また、ご利用には条件がありますが、折り畳み式ネットボックスを使用する等の対策も効果的です。いずれにしても、ごみステーションを利用している皆様の協力が不可欠となります。	瓦木公民館

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
まちづくり・住まいの環境	平成4年に生産緑地法が施行され、今後特定生産緑地へ移行する。今後も西宮市として農地を守っていくのか。	都市農地の保全については、国の法改正のほか、本市としても、平成30年の条例制定により生産緑地地区の指定要件を300㎡に引き下げるなど、取り組みを進めてまいりました。今後も、関係機関、関係部局との連携を図りながら、特定生産緑地の指定等、都市農地の保全に向けた取り組みを進めてまいります。	山口公民館
まちづくり・住まいの環境	西宮北口には芸術文化センターやガーデンズがあり、人がたくさん来て文化を感じるが、西宮市内では落差が大きい。文教住宅都市といっても施設が偏っている。アサヒビールの跡地はどうなるのか。とてもいい場所である。病院ではなく市民が使える楽しい場所にして欲しい。お茶を飲める、話せる、誰でも使える施設にして欲しい。アートなものを作って欲しい。	アサヒビール跡地については、土地利用の転換を円滑に推進し、計画的な公共施設等を整備することを目標に、地区計画の指定等を行い、恵まれた立地条件を活かした土地の合理的かつ適正な高度利用を促進してまいりました。このうち、阪神国道駅側の市が確保した土地については、平成31年1月に締結された統合再編基本協定に基づき、統合新病院の建設を予定しているほか、公園の整備を予定しております。なお、市の文化振興施策としましては、民間施設を含めた既存施設を活用しながら、市民の皆様に文化芸術を通じていきいきと豊かな生活を送っていただけるよう努めてまいります。	瓦木公民館

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
公園	西田公園万葉植物苑は、以前は良かったが、歌碑にちなんだ植物もほとんどなくなり、見に来る人ががっかりしている。万葉の歌にちなんだ植物を植えてもらいたい。	西田公園の万葉植物苑は多種の万葉集で読まれた植物を植えていましたが、現在枯死したものが多いため、今後は植栽箇所の再配置など、生育環境の改善も踏まえながら、市民の皆様にも馴染みがある代表的な種類を中心に再度植栽してまいります。	大社公民館
公園	甲東地区は子供が増えたので公園を作ってほしい。	市内の公園には、大小約2,000基の遊具があり、市ではこれら老朽化した遊具の更新を最優先に進めており、公園の新設には、多額の用地費や整備費を要することから、早期の対応が難しい状況でございますが、長期的な課題として検討してまいります。	甲東センター
公園	武庫川のリバーサイドを活動できる広場にできないか。親水公園にできないか県と調整しているが、市も支援してほしい。	地域要望を踏まえ、県が暫定的な広場整備を行うと伺っております。市では整備後の占用手続きを行い、運用及び維持管理について、今後、地域の方と相談いたします。	塩瀬公民館
公園	西波止公園の清掃は自治会で受け、平均12人集まって行っているが、高齢化して大変である。お金をいただいているが、時給に換算すると500円以下。せめて最低賃金並みにしてほしい。	公園清掃等管理委託契約の委託料は、1年間で必要な清掃用具やゴミ袋等を基礎とし、そこに公園の広さや樹木の多さを加味して金額を決定しております。委託料の改定は、今のところ予定しておりません。	香櫨園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
計画・開発	マンションの開発計画について、作る前に市から情報が来ない。この地区は畑が多く、きっとマンション問題はこれからも出てくる。市民に情報を下ろして欲しい。	10戸以上または敷地面積が500㎡以上のマンション等の開発を行う場合は、「開発事業等におけるまちづくりに関する条例」により、事業者に対して開発計画を周知するための標識の設置や、一定の距離の近隣住民や自治会等に対して協議・説明をするよう義務付けております。また、西宮市ホームページ等で開発事業の受付状況を公開しております。	瓦木公民館
計画・開発	湾岸線とのアクセスで鳥獣保護区のご真ん中を通すのは意味がない。甲子園筋を湾岸線に接続することになると、渋滞する。甲子園で高校野球が開催される際、南北道路は渋滞し、2時間くらいバスも動かない。湾岸接続で都市計画を見直す際に、甲子園筋の延長を見直してほしい。	現在、名神湾岸連絡線の都市計画（素案）を作成作業中であり、それにあわせて、浜甲子園線（海上区間）も含めた周辺道路網のあり方についても再検証しているところです。	鳴尾中央センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
交通	自転車道についての考えを聞きたい。自転車が走るの、歩道なのか、車道なのか。電動アシスト付自転車が歩道を走り、危険なことが多々ある。	自転車は道路交通法で軽車両に分類され、歩道と車道の区別のあるところでは、車道を通行するのが原則です。電動アシスト付自転車も同様です。 例外として、次の場合は自転車が歩道を通行できます。 ①道路標識や道路標示で指定された場合。②運転者が児童・幼児、70歳以上の高齢者または車道通行に支障がある身体障害者であるとき。③交通の状況に照らして、通行の安全を確保するために、歩道を通行することがやむを得ない場合。 但し、自転車で歩道を通行する場合は、すぐに停止できる速度で歩道の車道寄りの部分又は指定された部分を通行し、歩行者の通行の妨げになる場合は一時停止しなければなりません。 市では、警察と協力して、交通ルールの遵守を目的とした自転車安全教室を開催しておりますが、今後も継続して、わかりやすい広報や教育の充実に努めてまいります。	大社公民館
交通	青少年愛護協議会に携わる中で、色々な場所で横断歩道を付けて欲しいとなれば、教育委員会、警察、交通安全対策課の3つに言わなければならない。市の内部で一つになって対応して欲しい。	横断歩道の設置は、原則、関係する地域の自治会等からの要望書が必要となります。要望書の提出先は、要望場所を管轄する警察署です。市に提出があった場合は、交通安全対策課が窓口となり、市内の要望書を一括して、信号機に関することは毎年6月に、それ以外は毎年10月に管轄する警察署に提出しています。	大社公民館
交通	段上地区へ路線バスを通す目的の会として50名の組織を1月に立ち上げた。皆70～75歳の高齢者であり、コミュニティバスが10年後に実現したとしても皆まだ元気がわからない。早期に実現していただきたい。バス路線について、市としてはバス事業者に強く要請できない立場なのか。	路線バスの改善については、バス事業者が利用者の見込み、バス停等の整備、安全対策等の課題を整理した上で、総合的に判断を行うこととなりますが、市としてもバス事業者へ継続的に要請を行ってまいります。	甲東センター
交通	5自治会でコミュニティバス準備委員会を立ち上げた。地域主体で市は支援する立場と思われるが、市民の知識は乏しいため時間がかかる。生瀬でも9年かかっている。逆に市中心で進めて地域が協力するという形にならないか。	コミュニティ交通を継続的に維持していくためには、導入段階において、地域の実情に応じた適切な運行計画を作成し、地域全体で合意形成を図ることが不可欠であるとともに、導入後も、継続的な利用促進活動や、地域のニーズの変化等に応じた運行計画の見直しを行わなければならないため、市では、その導入から運営までを含め、地域が主体となり取り組む必要があると考えます。 また、コミュニティ交通の維持には特定の地域への継続的な税金の投入が伴うため、市民全体の理解を得る面からも、当該地域住民の主体的な取り組みが必要と考えています。 なお、名塩コミュニティバス準備委員会の地域の方々が、必要な知識を習得でき、地域に即した運行形態の選定などが可能となるよう、本市では、専門的な知識を有するアドバイザーを必要に応じて派遣してまいります。	塩瀬公民館
交通	塩瀬地区は公共交通が少なく、若い人が住み着きにくい。不便だ。	塩瀬地区には、鉄道駅及びバス停から一定距離の離れた公共交通不便地域が存在し、その改善が難しいことも認識しております。こうした課題の改善に向けては、コミュニティ交通「ぐるっと生瀬」を運行されている生瀬地区のように地域主体の取り組み事例があります。同様に、今後、地域の皆さまがコミュニティ交通の導入に向けた取り組みを行う際には、市は支援を行ってまいります。	塩瀬公民館
交通	西宮名塩駅前のロータリーについて、西宮市がロータリーの見直しを行った結果、外周がバス・タクシーで内周が一般車になり、塩瀬支所前の176号線からの道に出る交差点の信号機に問題がある状態である。誤った判断をするような信号機の設置はやめもらいたい。	信号機の所管は警察になりますので、要望内容を西宮警察署にお伝えいたします。	塩瀬公民館
交通	小菅根、小松から甲子園口へのバスは1時間に1本しかない。自転車で駅に行っても駐輪場がないのでタクシーで行くしかない。コミュニティバスを生瀬のように導入できないか。高齢者交通助成もあるが、バス自体がないと意味がない。高齢者は車を手放すと不便で、地域の交通がしっくりしていないと免許返納もできない。交通に力を入れて欲しい。	甲子園口へのバス路線につきましては、当該路線の運行する阪神バス(株)に確認すると、ご利用状況等を考慮して運行しており、現状では増便は難しいと聞いております。 コミュニティ交通につきましては、継続的に維持していくためには、その導入から運営までを含め、地域が主体となり取り組むことが必要と考えており、市はこれらの取り組みに対し側面的な支援を行うこととしております。 なお、JR甲子園駅周辺は、自転車利用が多く慢性的に駐輪場不足の状況であるため、1台でも多くの駐輪場を確保したいと考えており、今後も、既存の駐輪場の区画の見直しや施設の部分改修により収容台数の確保を行うとともに、引き続き、新たな駐輪場の用地確保について情報収集などに努めてまいります。	瓦木公民館
交通	中津浜線と名神高速が接合するところについて、免振ゴムで補強したら橋脚が大きくなったため、東側から中津浜線に出る時の見通しが悪く非常に危険である。しかし、瓦木小学校北門から西に行く時、50mが車両通行禁止であり右へ曲がって直進するしかない。7～9時は時間制限して西行をフリーにできないか。	時間規制などの交通規制は、周辺地域への影響を伴う場合があり、関係する地域の自治会等からの要望書が必要となります。要望書の提出先は、要望場所を管轄する警察署です。市に提出があった場合は、交通安全対策課が窓口となり、市内の要望書を一括して、信号機に関することは毎年6月に、それ以外は毎年10月に管轄する警察署に提出しています。	瓦木公民館
交通	J R 甲子園口北側広場、ロータリー付近に送り迎え等の一時駐車場所を確保できないか。	J R 甲子園口北側の駅前広場は、3千台を超える通過交通車両とバス、タクシー、歩行者等が交錯した危険な状況となっております。 また、バスの乗降や転回に必要な空間が不足していることから、交通誘導員を配置してバックにより停留所に停車させている状況であり、新たに送り迎えのための駐車場所を確保することは、空間的にも安全面においても困難な状況となっております。 ご指摘の内容を含む当該広場の交通課題の解消には、駅前広場の大幅な区域拡張に伴う用地買収や物件移転などが必要となるため、早期の実施は困難と考えております。	瓦木公民館
交通	高齢者の交通事故が多発している。車を使わないようにすると、買い物にタクシーを利用することになり、金銭的に圧迫される。阪神香櫛園→JRさくら夙川→阪急夙川までをつなぐコミュニティバスを導入できないか。	コミュニティ交通を継続的に維持していくためには、その導入から運営までを含め、地域が主体となり取り組むことが必要と考えております。こうしたことから、本市では、コミュニティ交通については、市が主体となって取り組むのではなく、地域が主体となった取り組みを基本とし、市はその取り組みに対し側面的な支援を行うこととしております。今後、地域の皆さまがコミュニティ交通の導入に向けた取り組みを行う際には、市は支援を行ってまいります。	香櫛園市民センター
交通	自転車の安全運転について、道路交通法では左側通行だが、現状は右、左と行き交っている。可能な限り左側通行するよう警察に伝えてくれないか。警察で以前講習があった際でも一切触れられていなかった。	自転車は、道路交通法で軽車両に分類され、歩道と車道の区別のあるところでは、車道を通行するのが原則で、道路(車道)の中央から左側部分の左端に寄って通行しなければいけません。 市では、交通ルールの遵守を目的とした自転車安全教室を開催しておりますが、今後も警察と連携しながら、わかりやすい広報や教育の充実に努めてまいります。	香櫛園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
交通	香榎園市民センターの建物ができて、横断歩道・信号が東側の堤防にしかないで、細い橋を渡らなければならない。信号の幅を西側まで広げてほしいと警察に言ったが、無理だと言われた。至急検討してほしい。	歩行者等の安全性を考慮すると、信号機や横断歩道の設置が望ましいと考えております。地域のご要望もお聞きしながら、信号機や横断歩道の設置について警察へ要望してまいります。また、ドライバーからの見通しを確保するための樹木の選定や速度抑制を促す注意喚起サインの設置などの安全対策を実施してまいります。	香榎園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
道路	ニテコ池は横断する道路で3つに分かれているが、その道路には段差があり、車椅子や自転車が通れない。	ご要望の段差解消につきましては、現地の地形上、降雨時の排水状況を確認する必要があります。段差箇所付近にある既設排水施設（道路側溝）の必要性も含めて、大雨時の排水状況を確認したうえで、段差解消について検討してまいります。	大社公民館
道路	門戸仁川線の道路計画は50～60年前からあり、171号線側から川を埋めて、ということで前向きに先が見込めると思う。完成していただきたい。	兵庫県が実施する津門川調整池事業に合わせて、国道171号から北側約300m区間で道路整備を実施する予定です。 今後、地元自治会等と調整しながら、事業を進めてまいります。	甲東センター
道路	国道176号線の整備で西宝橋から右折できるようになるようだが、右折可能になると便利だが、危険が増える。カーナビで抜け道として指定されたりすると困る。何とか対策を取らなければと思っている。	国では、4車線化の完成時には西宝橋南詰交差点に右折レーンを整備する計画ですが、西宝橋の架替工事期間中に設ける、暫定右折レーンの利用状況なども見ながら、改めて自治会等と完成時の右折レーン設置について協議する予定としております。	塩瀬公民館
道路	市道丸山線の件、進捗状況を聞きたい。第5次総合計画の中で住民主導から市主導へ切り替えるとのことだが、市主導になればどう変わるのか。	道路のネットワークを考えると当該部分の整備は必要であると考えており、昨年度、現況測量及び予備設計を行いました。その結果街路事業（用地買収方式）で整備すると、最大2.6m程度の擁壁でまちが分断されることが分かりました。	
道路	市道丸山線については、地権者にも賛成・反対がある。盤滝トンネルは無料になったが交通量は増え、船坂や金仙寺では大渋滞で家から車が出せない人もいる。便利になったがしわ寄せも経験している。丸山線ができ、再開発してたくさんの方が来てくれる山口町にしてはというのも市の提案に入っていると思う。「静かなままで」と「便利になればうれしい」と両方の意見の人がいると思うが、自分としてはぜひ便利になるならお願いできればと思う。	市としては、このような状態は好ましくないと考えています。整備手法について用地買収方式ではなく丸山線を含む区域一帯を土地区画整理事業（換地方式）で面的に整備したほうが地域全体で一定水準での整備が可能となるため好ましいと考えています。 「市主導」になれば、市が主体的に事業計画策定等の策定を行うこととなりますが、地権者や関係団体等と相談しながら進めていくことに変わりはありません。	山口公民館
道路	甲子園口は瓦木支所管内であるが、JRを越える道は中津浜線とも一つしかない。土日は混雑する。JRを越える道を検討しているのか。	当該地域でJRを越える都市計画道路としては、甲子園段上線がありますが、JR神戸線との立体交差化に多額の事費が必要となることや、道路幅員の大幅な見直しが必要となることなどから、事業化は困難な状況であり、今後の長期的な課題と考えております。 また、現在アサヒビール工場跡地付近で、JRを横断する歩行者・自転車の通路の整備について検討しています。JR横断通路の実現にあたっては、多額の事業費を確保する必要があるほか、JR用地や北側の学校用地の取得、横断通路以北の歩行者・自転車ルートの確保など、多くの課題がありますが、統合新病院など周辺の土地利用の動向も見ながら、事業化について引き続き検討してまいります。	瓦木公民館
道路	大浜町には香榎園小学校に通う子が300人以上いる。昨年市政報告・広聴会で、森具川沿いの臨港線から香榎園幼稚園までの南北の道のグリーンベルトについて、塗り直して欲しいと言った。その後担当課にも言ったが、予算の関係で無理だと言われた。この5、6年が児童数のピークなので、子供の事故をなくすよう早急をお願いしたい。	現地調査の結果、現時点ではドライバーから見て、機能に支障があるほど不鮮明になっている訳ではないため、路側帯カラー舗装（グリーンベルト）の補修は直ちに実施する状況ではないと判断しております。なお、今後、他地域の劣化状況等を踏まえながら補修時期を決定いたします。	香榎園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
施設	越水浄水場には鉄条網や有刺鉄線があり、3年前に子供が引っ掛けがをした。また、浄水場の事務所への道については、石段は丸い石で手すりもない。	水道施設では外部からの侵入防止や毒物投入対策として、高さ1.8m以上のフェンスの上に有刺鉄線又は忍び返しを設置しています。 昨今の事情や景観に配慮しフェンスの更新の際は有刺鉄線を忍び返し型に変更していき、フェンスの破損などを発見した場合は迅速に補修をするよう心掛けております。 公園から浄水場進入路への石の階段につきましては、越水浄水場建設時の周辺様相の名残であり、周りの石垣などとの調和や景観を考え当時の姿を維持していますが、改修を行う際には手すりの設置なども考慮したいと思っております。	大社公民館
施設	広田地区にはコミュニティの施設がない。地域の核になる施設を作って活動ができやすいようにしてほしい。	広田地区が市民集会施設の空白地域であることは認識しておりますので、引き続き検討を行ってまいります。	大社公民館
施設	今後、病院統合で地域医療が甲東地区で課題になる。統合病院にはバスでストレートに行けない。そのあたりを含めて病院の再編と地域の利便性をセットで考えて欲しい。	いただいたご意見のような課題があることは十分認識しております。中央病院の跡地における後医療も含め、今後、計画を推進する中で検討してまいりたいと考えております。	甲東センター
施設	東山台の留守家庭児童育成センターはプレハブである。子供は減っているのに、育成センターでは待機児童が出ている。プレハブに多い時で50人を預かっている。施設を充実させてほしい。	共働き世帯の増加に伴い、全市で育成センターの利用希望は増えてきているため、学校教室の転用や新設育成センターの設置場所の確保、待機児童の発生状況など、様々な要素をふまえて検討し、順次、改修・増設を行っております。また、育成センター以外の放課後の子供の居場所として放課後キッズルームなどの実施を進めています。	塩瀬公民館
施設	西宮名塩駅前駐輪場料金は西宮市内で一番高額であり、地価を考えてもなぜかこのように高額なのか。1日料金の値下げと1ヶ月料金の値下げをしてほしい。また、もっと安価な駐輪場にすれば皆が利用すると思うので、建物外に新たな駐輪場の整備をするよう、駐輪場の見直しをしてほしい。	市営の自転車駐車場の利用料金は、「建物内か屋外か」等の駐車場の構造に加え、鉄道駅からの距離なども勘案し、総合的に利用料金を決定しております。 適切な利用料金の設定については今後、他市の料金設定の事例や地域の諸条件などを加味したうえで、見直しについて検討してまいります。	塩瀬公民館
施設	西宮名塩駅前駐輪場に50ccを超えるバイクを駐輪できるという記載は無いのに、以前は1000ccを超えるようなバイク、現在は125ccまでのバイクを駐輪させている。これは条例違反ではないのか。	条例上、50ccを超える原動機付自転車であっても、「市長が特に駐車を認めたもの」は駐車が可能です。 空き状況及び高低差の大きい周辺の地形を考慮して、現在、同自転車駐車場では125ccまでの原動機付自転車の利用を許可しております。	塩瀬公民館
施設	図書を予約する方法として、インターネットや電話があるが、月次雑誌など図書館に行かないと予約できないものがある。なぜ、予約と受け取りのための2回図書館に行かなければいけないのかシステム更改の際に取り入れていただきたい。	図書館では、未所蔵の資料については、資料に関する情報を確認する必要があり、窓口での予約をお願いしております。特に雑誌については、数多くの方が先行予約をされることから、インターネットを使えない方との公平性の観点からも来館での予約をお願いしております。	塩瀬公民館
施設	公民館がある24地区の中で、公民館に講堂がない地区が2地区ある。その内の1地区が山口。山口ホールがあるが使用料がかかり、地域に負担がある。公用なら減免だが、公民館とは異なり公民館活動では減免されない。公民館の講堂を持っていない地域についてホールを費用負担の無い講堂扱いにしてほしい。	山口公民館では、第2・第3集会室につき、他の公民館の講堂と同程度の人数が収容できるスペースとしてご利用いただいております。山口ホールは公民館の講堂ではなく、公用であっても減免はありませんが、多人数の利用等により公民館の集会室等を使用できない場合につきましては、地域団体が主体となり実施し、かつ公益を目的とする事業であれば、地域団体からの申請と、市の団体担当部局からの副申を審査の上、山口ホールの基本使用料金をのみを減免することとしております。	山口公民館
施設	県立西宮病院と市立中央病院の統合は、いつできるのか。	他病院の統合事例では、統合合意から開院まで6年程度を要しています。具体的なスケジュールは、今年度中に策定予定の統合新病院「基本計画」でお示しする予定です。	瓦木公民館
施設	甲子園口には本屋がないため、公民館に本や雑誌を置いてほしい。いつ誰でも本が読める場所を作ってほしい。	公民館では、スペースの問題もあり、本を読んでもいただけるような空間の提供は考えておりません。甲子園口駅周辺で図書館サービスの一部を提供できないか検討してまいります。	瓦木公民館
施設	瓦木幼稚園が2020年4月になくなるが、災害の際の避難場所にもなるように跡地に市民センターを3階建てで作って欲しい。	今後の利活用について現在検討を進めており、地域から要望として出ている子育て支援関連施設等への活用について検討しつつ、それ以外の活用方法についても早急に整理を行ってまいります。	瓦木公民館
施設	瓦木幼稚園の跡地について、何か高齢者向けの施設に変えて欲しい。高齢者へ目を向けてほしい。		
施設	高須東小学校の跡地に保育所ができたが、後ろに広大な土地がある。出来れば老人福祉施設をつくり、保育所と交流できたら双方により効果があるのではないのか。	市では、将来的な武庫川団地内の公共施設の再編や団地全体の再整備を見据え、それまでの間、民間事業者への有償貸付により小学校跡地（認可保育所用地を除く約1.2ha）の有効活用を図ることとしております。 平成31年4月には公募型プロポーザル方式により阪神電気鉄道(株)を優先交渉権者として選定し、駅と住まいをつなぐ「緑の癒し・交流・賑わいを育む新たなひろば」をコンセプトとしたまちづくりが進められる計画となっております。 今後は、説明会の場などを通じて地域の皆様のご理解を得ながら、街の玄関口として相応しい賑わいの創出や生活利便性の向上のほか、憩いと交流の場となるひろばの整備など、計画の実現に向けた取り組みを進めてまいります。	鳴尾中央センター
施設	小松幼稚園の休園から2か月経った。その後の活用について、昨年8月頃から7人の自治会長が集まり、市にお願いしたが、部署間のブロックが高すぎるのではないのか。市民目線になっていない。仮使用として、小松あさひ保育所の運動会や小松センターで行っているいきいき体操、県民広場事業での映画会に貸してくれないか。	平成31年4月に実施した全庁的な利活用の意向調査結果を踏まえ、今後検討を進めてまいります。なお、暫定利用の手法等につきまして、現在、庁内で鋭意協議中です。	鳴尾中央センター
施設	昨年の台風のとおり、1日目は停電で、2日目に自治会館が通電したので開放した。看板を出したところ多くの人に来て、集合住宅の水が出ないので、米を持ってきて炊き出しもした。そういうような活動ができたので、小松幼稚園を自主防災組織の拠点にし、ソーラーも付けてもらえないか。	小松幼稚園跡地については、平成31年4月に実施した全庁的な利活用の意向調査結果を踏まえ、今後検討を進めてまいります。なお、災害時の電源確保については、小学校区ごとに配備している発電機も利用いただけます。	鳴尾中央センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
施設	台風21号で警報が出た際、交通機関が計画運休し、外出を控えるよう伝達されたため、講師も来られず、やむをえず勤労会館での集会を中止した。使用料は前納していたため使用料を返還してほしいと言ったが、施設は開けていたので条例で返還できないと言われた。災害などの場合は、条例改正して市が利用者に返還できないか。	同内容の要望を受け、平成30年10月1日付で「西宮市勤労福祉センター及び西宮市勤労者・障害者教養文化体育施設使用料還付に係る事務処理要綱」を策定しました。使用料全額を返還する要件として、①施設が避難所として開設された場合、②特別警報が発令された場合、③全ての公共交通機関の運行が停止した場合を規定しております。	香櫨園市民センター
施設	市道178号線、180号線は幅員5mと狭い。行き交いが非常に困難であるにも関わらず、西波止町の地先に80台入る駐車場がある。御前浜に来る人の駐車場は西宮浜に作って、はね橋を渡って帰る、という約束が反故にされた。西宮浜の駐車場だけで十分であり、西波止町地先の駐車場は廃止してほしい。	西波止町地先の駐車場は、御前浜公園利用者の利便性の確保や、近隣の不法駐車対策として一定の役割を果たしているため、廃止する予定はございません。	香櫨園市民センター
施設	西宮は高校野球の聖地であるが、兵庫県東で高校野球の予選ができる球場が尼崎市にしかない。予選ができる会場に改装して欲しい。資金集めなどで協力したい。実現できないか。	県予選実施のためには、観客席及び駐車場の拡張、ボール飛び出し防止のためのフェンスかさ上げ工事やスコアボードの改造など、数億円規模の工事が必要となってきます。市内スポーツ施設には改修・補修を必要とする老朽箇所が多く存在し、今後継続して多額の経費がかかること、費用対効果など様々な事情を考慮しますと、多額の費用を要する野球場改修の実施は困難であると考えています。	香櫨園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
教育	現在、小中学生は避難訓練を実施しているが、避難にとどまっている。災害時に活用できる、ロープワーク、火おこし、簡易テントの設置など、ボーイスカウトのリーダーや地域に住むアウトドア活動の好きな方に、子供たちも楽しみながら覚えることができる活動をしてもらってはどうか。	学校園で行う避難訓練等については、学校園における教育活動時に起こった災害を想定し「自分の命は自分で守る」ことを第一義に考えた避難行動等を訓練として行っています。災害時に活用できる技能については、地域の自主防災組織などが企画する防災関連行事などに参加して体験する場合があります。また、各小学校区単位で、住民の皆様に参加いただける「小学校区防災訓練」を順次実施していますが、その中では、消防署員や消防団員によって、災害時に役立つロープワークや救出救助方法、応急手当方法などを学んでいただけるコーナーを設けています。	塩瀬公民館
教育	コミュニティスクールについて。北六甲台小学校では、山口支所管内、塩瀬支所管内、道場（神戸市北区）の3つの地域が関わっているので、3つの地域の地域団体に話をしに行かなければならない。学校区割り地域団体の区割りがまともであれば円滑に済む。	校区を変更することにより、児童・生徒数が学校施設の容量を上回る場合や、反対に学校の規模が小さくなりすぎる場合など、学校の教育活動に支障をきたす場合があります。また、校区変更は該当する児童生徒や保護者のみならず、様々な地域コミュニティに多大な影響を及ぼすものであること、また多くの方々のご理解を得ながら進めていくことが大切であることなどから、その実施にあたっては慎重な検討が必要と考えております。そのため、校区変更は、現時点では考えておりません。	山口公民館
教育	今年度の主な施策にある教育環境における「障害の状態に応じた支援体制の充実」の具体的内容とは何か。	障害のある子供たちの教育的ニーズに応じて、幼稚園への保育支援員の配置、小・中学校への介助支援員の配置や看護師の拡充などの人的配置を行うとともに、教職員等の専門性向上に向けた研修等の充実に取り組んでおります。	山口公民館
教育	西宮浜の小中一貫校は全市から募集するのか。	市内全域から募集します。主な募集条件としては以下のとおりです。 ・市内に保護者と居住している。 ・義務教育学校の教育計画に沿った学校生活ができる。 ・原則、徒歩または公共交通機関を利用して通学できる。 ・卒業まで通学する意志を有する。	鳴尾中央センター
教育	学校における障害のある子供への合理的配慮とは何か。	障害のある子供が、他の子供と平等に教育を受ける権利を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さない範囲で必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子供に対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるものです。具体的には、施設のバリアフリー化や、幼稚園への保育支援員の配置、小・中・特別支援学校への看護師や介助員等の配置などを行っています。	鳴尾中央センター
教育	不登校は市内に600人（休みがちを含めるともっと）いるが、あすなる学級に登録しているのは50人。登校できるのは15～20名。他の子のフォローはどうするのか。家族のかかり方で子供の伸び方も変わる。教育委員会は、校区ごとの親の会や横のつながりはやっていない、今後検討しますとの話である。昼間の居場所を考えてほしい。	あすなる学級在籍の有無にかかわらず、学校は個に応じた支援を行っています。教育委員会はあすなる学級の再編・拡充の他、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの学校への派遣、生徒指導担当者に対する研修を行っています。 また市は、平成30年度より年に1回、不登校児童生徒支援を行う民間施設等との交流会において情報交換をしています。さらに教育委員会は必要に応じて民間施設を直接訪問したり、他市の取組の情報を収集したりする中で、支援のあり方について研究しております。 なお、10月より、こども未来センターのあすなる学級を再編するとともに、それに加えて、休園中の鳴尾北幼稚園施設を活用して、新たにあすなる学級を開設する予定です。	鳴尾中央センター
教育	外国籍の児童1万人が日本語を学べないで学校に行っていると新聞に記事があった。どのような対応をするのか。	日本語指導が必要な外国人幼児児童生徒に対しては、県の「子ども多文化共生サポーター」や市の「生活・学習相談員」を子供の実態に応じて一定期間配置しております。また、生活言語の習得を目的として、希望した子供達は、それぞれの学校の「日本語教室」に参加しています。更に、西宮市国際交流協会では、ボランティアグループと協働し、市内の公立小・中学校へ通う子どもとその親のための「日本語学習教室」を実施しております。 多言語対応につきましては、県の多文化共生センターとの連携や、国際交流協会において、各種言語におけるボランティアの募集を行うなどの対応をとっております。	鳴尾中央センター
教育	学校区問題について、市庭町は香櫛園と浜脇に分断されている。主な行事は浜脇のだが、自治会は混乱している。同じことを2か所で行わなければならない。学校区を改善する気はないか。	校区を変更することにより、児童・生徒数が学校施設の容量を上回る場合や、反対に学校の規模が小さくなりすぎる場合など、学校の教育活動に支障をきたす場合があります。また、校区変更は該当する児童生徒や保護者のみならず、様々な地域コミュニティに多大な影響を及ぼすものであること、また多くの方々のご理解を得ながら進めていくことが大切であることなどから、その実施にあたっては慎重な検討が必要と考えております。そのため、校区変更は、現時点では考えておりません。	香櫛園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
健康・福祉・雇用	留守家庭児童育成センターに指定管理者制度が導入されているが、事業者（指定管理者）が変わるたびに利用者と事業者とのつながりが崩れる。事業者が継続することが子供にとって重要である。保護者、事業者が継続を望んでも、指定管理者選定委員会には保護者の代表は入っていない。利用者の声が反映されない納得できない制度である。一度意見交換の場を設けてほしい。	指定管理者による管理が適切に行われているかどうかを定期的に見直す機会を設けるため、指定管理者の指定は期間を定めて行うものとしてとされています。 市長と広田学童保護者の会との意見交換会を7月12日に開催しました。今後より良い留守家庭児童育成センターとなるよう取り組んでまいります。	大社公民館
健康・福祉・雇用	広田の留守家庭児童育成センターは昭和50年代の放課後の居場所づくりとして小学校のお母さん方のボランティアで始まった。現状に満足しているが、指定管理者制度における指定管理者の交代で指導者が全て変わってしまうことについて市長のご意見を聞かせていただきたい。10年間の指定期間で築いた関係は貴重であり、人と人とのつながりが崩れてしまう。		
健康・福祉・雇用	五月ヶ丘に居住しているが、高齢者が集まれる場所がほしい。西宮市に空家対策の計画があることを知ったが、空家の活用はできないか。	市では、空き家活用に関する相談業務を実施しており、空き家利用情報や改修支援、空き家を活用したつどい場づくりの支援制度などの情報提供が可能です。なお、空き家に関することはすまいづくりに推進課へ、つどい場づくりに関しては地域共生推進課までご相談ください。	大社公民館
健康・福祉・雇用	私が所属している社会福祉協議会の車椅子は全て古いため、ハンドブレーキがついておらず、この坂の多い生瀬地域では使えない。予算を計上して、電動サポート付きの車椅子を買おうと思っているが、15万円かかり、補助は全くない。サポートの仕組みを作ってほしい。	ご要望いただきました電動サポート付き車いすをはじめとする備品購入費用を特定団体へ補助する制度の導入は、現在検討しておりません。 なお、利用対象者は限られますが、下記のような市のサービスがございますので、そちらをご活用いただくと幸いです。 要介護認定を受けている方（原則として要介護2以上の方）については、介護保険を利用して電動車椅子のレンタルをすることができます。ご利用にあたってはケアマネジャーにご相談ください。 また、身体障害者手帳を所持する障害者等であって、電動車いすの支給要件を満たす方については、県の判定機関の判定等の手続を経て、購入に要する費用等について支給を受けることができます。電動車いすの利用を希望される場合は、生活支援課までご相談ください。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	地域への「あいサポーター」登録の投げかけについてであるが、民生委員をしているにも障害のある方を把握していない。障害のある方をどう把握するかが課題である。仮に把握できたとしても、民生委員は守秘義務があり、どこまで情報を出してよいのかも考える。	あいサポート運動は様々な障害の特性や障害のある人への必要な配慮を理解し、障害のある人への配慮や手助けができるあいサポーターを養成するものです。指定の研修を受講すれば、あいサポーターになることができます。 現在、地域安心ネットワークに登録した障害者のリストを民生委員へ提供しているほか、地域避難支援制度により、平常時においても障害者などの避難行動要支援者の情報を民生委員を含めた地域と共有する仕組みづくりを進めているところです。情報提供の範囲については、個人情報保護の観点から、本人の同意を得ながら、必要最低限の範囲での運用をお願いしたいと考えています。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	生瀬も高齢化が進み、一人暮らしの方が孤独死している。地域包括支援センターの方が警察に連絡したが、市にはどのように連絡したらいいか。地域としてどう関わっていけばよいか、手続きが分からない。	万が一孤独死（孤立死）されている方を発見、またはその疑いが持たれる場合（異臭がする等）、まず警察へご連絡ください。また亡くなられた方に身寄りがなく、どなたも葬儀を行う方がおられない場合は、警察からの連絡により市がご遺体を埋火葬することになります。	塩瀬公民館
健康・福祉・雇用	北部で障害者支援をしているが、移動交通について問題が大きい。福祉サービスにタクシー券があるが、タクシー業者が西宮の指定をもっていないと使えない。北部のタクシーや神戸のタクシーは指定を持っていないので、使えるところが限定される。	本市では、西宮市初乗制福祉タクシー派遣事業（以下、「初乗制」という。）、西宮市福祉タクシー派遣事業（以下、「予約制」という。）として、障害者の外出を支援する施策として福祉タクシー利用券を交付しております。 平成31年4月1日時点で、初乗制につきましては兵庫県タクシー協会など122事業者と、予約制につきましては阪神タクシーや阪急タクシーなど8事業者と委託契約を締結しております。 初乗制につきましては、平成30年度中に兵庫県タクシー事業協同組合など14事業者と新たに委託契約を締結いたしました。 今後も、利用者のご意見をお聞きしつつ、利便性向上に努めてまいります。	山口公民館
健康・福祉・雇用	民生委員をしているが、表札がないと赤ちゃん訪問や高齢者訪問の際にインターホンを押せない。	近年は表札のない家庭が増えており、訪問の際に困難なケースがあるという同様の意見を複数いただいているところですが、対象家庭の住戸に表札が付けられているかどうかについての情報提供はできません。 そのため、表札が無い場合には、情報提供している対象家庭の住所と、門扉等に掲示されている住居表示板を照合する等により、対象家庭を特定頂いた上、訪問をお願いしたいと考えますが、住居表示板の掲示がされていないなど、訪問に不安がある場合は、訪問される前に、担当課にご相談ください。	瓦木公民館
健康・福祉・雇用	高齢者の交通助成は継続してほしい。	高齢者交通助成事業は、高齢者からの期待が非常に高い事業であり、平成28年度の利用者アンケート調査及び平成29年度の利用状況分析結果からも、健康の保持に寄与しており、より利用しやすい方法を検討しながら、継続していきたいと考えております。	瓦木公民館
健康・福祉・雇用	市長選挙の際、石井市長は全ての学校区にこども食堂を設置すると言っていたが、どうなっているのか。	現在、子ども食堂の新規開設や運営面での（仮称）情報交換会を開催するための準備を進めており、サポート体制を作ることで箇所数の増加を目指します。	瓦木公民館
健康・福祉・雇用	鳴尾地区、浜甲子園団地はとてつもない高齢化である。遠隔地や僻地と思われがちな限界集落が40万都市に存在する。シニア、シルバーもいきいきと全国に自慢できる、高齢者がよかったと思える施策をしてほしい。	地域の身近な場所で健康づくりや社会参加ができるよう西宮いきいき体操や居場所づくりの充実に努めてまいります。	鳴尾中央センター
健康・福祉・雇用	高齢者交通助成券は郵送で送ってくるが、マッサージ券は取りに行かなければならない。二重の手間がかかっているため、一緒にして合理化できないか。	高齢者交通助成割引購入証は、約8万人の対象者に送付しておりますが、はり・きゅう・マッサージ補助券は、平成30年度交付実績は約5,700人であり、一緒に送付することは困難であると考えております。なお、本庁舎以外に、各支所、サービスセンターでも手続きしていただけます。	香櫨園市民センター
健康・福祉・雇用	アサヒビールの跡地などにシニア向けマンションは建つが、お金がかかるためサラリーマンでは入れない。特別養護老人ホームの整備はどうなっているか。	特別養護老人ホームにつきましては、西宮市介護保険事業計画に基づき、今年度、特別養護老人ホーム2施設、地域密着型特別養護老人ホーム1施設の運営法人の公募を行う予定です。その後も、計画的な整備に努めてまいります。	香櫨園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
防災・防犯	災害時に高齢者の避難などを手助けする地域避難支援制度において、支援者は登録方式となっていたが、実際の有事のときには登録方式では人は動けないのではないか。	地域避難支援制度に登録いただいた団体区域内の避難行動要支援者に対し、意向確認を行い、個人情報提供に同意した者の名簿を地域へ提供しています。平時からその名簿を活用することで、災害の際に安否確認などの対応ができるよう、体制構築に努めていただいているところです。	塩瀬公民館
防災・防犯	災害時にはトランシーバーが地域と市の連絡方法として有効な手段である。ただし、トランシーバーだけだと北部地域と南部地域との直接の通話はできない。六甲山系の山の頂上に「リピーター」という機器を設置するとともに、トランシーバーの通話可能周波数を変更すれば通話可能となる。大がかりなことになるので、阪神間の各市で共同して取り組みを進めてはどうか。	トランシーバーも場合によっては、有効な連絡方法の一つであると考えますが、その用途や他の手段との比較を行い、他市の状況も確認しながら検討してまいります。	塩瀬公民館
防災・防犯	生瀬小学校の体育館は避難所になっていない。小さい避難所をいくつも確保してくれているのは分かっているが、大災害があったとき、生瀬の人はどこに避難したらいいか見えてこない。	生瀬小学校の南側斜面は県が対策工事を行い、また、市が体育館西側のガラス飛散防止対策を行ったことにより、一定の安全性が確保されたため、大規模災害時には体育館も避難所として使用いたしますが、土砂災害警戒区域と建物の位置との関係を考慮し、避難者の人数に応じて、警戒区域から遠い施設から順に避難所として開設していくこととしています。	塩瀬公民館
防災・防犯	大雨の時、JRは宝塚駅までは運行しているが、それより北は運行停止になる。河川、道路に影響されていると思うので、他の組織と協力して宝塚以北の運行状況の改善をお願いしたい。	JRには今後の法面強化対策等の予定について確認するとともに、災害時の運行情報提供を速やかに市民に案内するよう、引き続き要望してまいります。	塩瀬公民館
防災・防犯	防災スピーカーは何を言っているかわからず、何かを言っているとしか分からない。上山口には防災スピーカーがない。上山口にも設置してほしい。	防災スピーカーは、スピーカーの方向、距離、位置関係や、風雨等の気象、屋内におられる等の条件により聞き取れない場合や聞こえない地域があります。何か聞こえましたら、別の情報収集手段で情報収集するようお願いします。携帯電話をお持ちの場合は、メール配信サービスである「にのみや防災ネット」に登録されることや防災スピーカーと同時期に同じ内容が放送される「緊急告知ラジオ」の購入などをご検討いただくと幸いです。 市では他にも、テレビのデータ放送(dボタン機能)、コミュニティFMラジオ(さくらFM)、緊急速報メール、ホームページ、ツイッター、フェイスブックや広報車など、様々な方法で情報発信を行っておりますので、多様な媒体から情報収集していただきますようお願いいたします。 なお、上山口に向けた防災スピーカーは、山口樋ノ谷公園子局(山口町上山口4丁目16)と山口センター子局(山口町下山口4丁目1)がございます。	山口公民館
防災・防犯	市から配布される一世帯10枚の土のう袋は役に立っていない状況にある。袋の耐久性が非常に悪い。すぐに破損し、土砂等が散乱する。せめて1年程度耐久力のある土のう袋に交換してはどうか。	市の配付する土のう袋につきましては、市が水防活動等で一般的に使用しているものを、各家庭の備えの一つとしての啓発を兼ねて、1回につき10袋をご要望に対し配付しているものですので、ご了承をお願い致します。	瓦木公民館
防災・防犯	台風21号で南甲子園公民館は避難所として開いていない。高潮の後で開くことになった。どこへ避難したらいいか。スタッフがいらないなら自治会で開けられるようにして、訓練すればよいのではないか。	災害毎に開設される避難所は、本年度に配付したハザードマップで確認することができます。 避難所の開設・運営につきましては、地域住民によることが望ましいと考えますが、地域住民と施設管理者の合意形成が必要です。 今後のルール作りに向けて検討してまいります。	鳴尾中央センター
防災・防犯	防災の観点から高齢者の居場所確認の課題がある。民生委員は個人情報を出せないで、ネックになっている。防災目的に限り把握できるように条例で規定できないか。そうすると調べやすい。東南海地震はいつ来てもおかしくないで、何とかしてほしい。	災害時に支援の必要な方について、平常時から地域で情報共有ができるように、地域避難支援制度などの取り組みを進めているところでございます。	香榎園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
コミュニティ・交流	10数年自治会長をしているが、会員数が少なくなっている。西宮市民は自治会に加入するよう西宮市から言ってほしい。高齢者や若い一人暮らしの方が加入を拒否している。	自治会については、任意加入ではありますが、現在、西宮市では、転入時の加入促進チラシの配付や、マンション建築時に建築事業主からの加入の呼びかけ等の取組みを行っております。今後も、自治会への加入促進に関する取組みを行ってまいります。	甲東センター
コミュニティ・交流	地域の自治組織のあり方について、具体的にどう考えているか。	自治会への加入促進の取組みを継続して行うとともに、自治会等における担い手・後継者確保のための人材発掘や育成の手法を検討していく等、地域力の向上に向けた施策を推進してまいります。	塩瀬公民館
コミュニティ・交流	昔と違い、今は10軒に2軒は表札がない。防災安全の観点から必要である。表札の掲示を市条例、県条例で取り組んでもらえないか。	市として、表札の設置を推進するような啓発活動を行うことは考えておりません。	瓦木公民館
コミュニティ・交流	外国人労働者はどんどん増える。外国人犯罪、地域とのトラブルが心配である。何か受け入れ施策はあるか。	西宮市国際交流協会では、外国人に円滑に日常生活を送っていただけるよう、多言語による生活相談や、外国人が地域にうまく溶け込めるように、地域の行事（夏祭り・そうめん流し・もちつき大会等）に参加していただくきっかけづくりなど、様々な取組みを行っております。また、企業や自治会等からの依頼により、ゴミ出しのルール等に関する出前オリエンテーションを行っております。	鳴尾中央センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
選挙・議会・議員	投票率を少しでも上げるために、投票所で投票状況が分かるような掲示をしてほしい。そうすれば、全体の投票状況のなかで、自分の立ち位置が分かる。	投票率の向上は重要な課題です。 リアルタイムで投票状況を各投票所に掲示することは難しいですが、投票所に足を運んでいただくためにはどのような啓発が有用か引き続き検討してまいります。	瓦木公民館

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
行政	自治会活動や環境活動をしているが、市役所内の部署が連携していないと感じている。そういうことでは何も進まない。例えば、留守家庭児童育成センターに関する問題でも、教育機関が入り込まないといけないのではないのか。	組織の縦割りに関する課題については、グループ制を導入することにより、局内では関連する事務について、連携課としてチームの連携を可能にしておき、また、局をまたぐ事務に関しては、プロジェクトチームの設置や職員を兼務又は併任するなどの体制により、情報の共有化と事務の縦割りの解消を図っているところです。 ご要望の中で挙げられている育成センター課につきましても、教育委員会と併任しており、関連部署との連携をさらに図りながら事業を進めてまいります。	大社公民館
行政	処分される猫などの動物がいなくなるように、えさ代が高いので、保護猫等の証明がある人に安くえさを食べる制度を作してほしい。	本市では、殺処分される猫が少なくなるよう所有者のいない猫不妊手術助成金制度、譲渡事業、ミルクボランティア事業等を推進しており、今後も殺処分の削減に努めてまいります。	大社公民館
行政	市役所の無料法律相談について、老人等には20分で相談しきることはできない。	無料法律相談は、より多くの市民の皆様にご利用いただけるよう、相談時間を一組20分以内としています。 ご利用の際には、利用者の方に相談内容のメモ書きの準備をお願いしたり、職員が予約受付時にあらかじめ相談内容を聞き取り、相談票にまとめて弁護士に伝えることで、相談時間を有効に活用していただけるよう努めております。 また、全く同内容の相談でなければ、複数回（ただし制限あり）利用できます。	大社公民館
行政	前回から広聴会に参加している。残念なこと甲東地区には7万人いるが、出席者は25名程。市政ニュースのトップに日程を書けば良い。それでも出席者がこの人数なら市民の責任である。	様々な媒体での広報や市政報告・広聴会の実施手法について検討し、今後も参加者の増加を図ってまいります。	甲東センター
行政	施政方針の3つの柱（①行政の信頼性向上に向けた市役所改革、②子供子育ての応援と子供や大人の学びの支援、③シニアもみんな生き生きするやさしいまちづくり）は、市長としてどれくらいの期間で行うのか。	施政方針にある「3つの柱」は、石井市政の大きな方向性を示すものです。 そのため、この「3つの柱」自体に達成期限をお示しできるものではありませんが、施政方針で示している各事業・施策は、この「3つの柱」の実現に向け、計画・実施することとなったものです。 今後も、「3つの柱」を中心に、様々な事業・施策を展開していきたいと考えています。	塩瀬公民館
行政	名塩幼稚園跡地の利用方針について聞きたい。	名塩幼稚園の敷地は、民間所有地を市が借り受けていたもので、園舎の解体が終わる今年度末を目前に返却する予定であります。その後のことにつきましては関係者で協議中です。	塩瀬公民館
行政	有馬川から農業用水を取り入れている。昨年の台風で有馬川が被害を受け、堰堤が欠けた。これは県に要望して修繕してもらったが、川底がさらわれて、元の取水口から水が入らなくなった。土嚢を3段堰堤に積んでやっと水が入るようになったが、土嚢は大雨の際に流されてしまう。中野から176号線までの田んぼは全滅になると思う。県がダメだと言うので、川に構造物を置くのを県が許さない。	有馬川の元湯（取水口）に水が入りにくくなった原因として、昨年の豪雨などにより、取水口近くの落差工（堰堤）がそれまでより更に欠損した影響で、河床の土砂の洗堀が進んだことなどで取水口付近の水位が上がりにくくなったことが考えられます。 一方、今年3月までに県西宮土木事務所により落差工の補修工事が行われ、更に出水期を迎え有馬川が順調に増水しており、また、復旧した落差工の効果もあり、今後上流からの土砂により河床も上がると考えられるため、農業用水が必要な代掻き期から普通灌漑期にかけての農業用水については、回復していくものと考えています。 今後も水利関係の方々には引き続き取水口や水路の維持管理をお願いしていくことにはなりますが、市としましては、今後の水位の推移を見ながら、更に対応が必要な場合は、県西宮土木事務所とも相談のうえ、対応策を検討してまいります。	山口公民館
行政	5G（第5世代移動通信システム）について、5年後には市としてどんな目標があるか。	5Gについては第5次西宮市情報化推進計画に具体的な行動目標として挙げてはおりませんが、国や先進自治体の動向を研究し、庁内各課が施策に反映できるよう適宜情報提供してまいります。	瓦木公民館
行政	県にはさわやか提案があるが、市にはどこに聞いたらいいかわからない。県のさわやか提案のようなものを設けてほしい。	本市においては、「市民の声（市長への手紙）」を実施しており、市政に関する提案や意見、要望などをEメールや文書でお寄せいただけます。また、文書においては、市役所本庁舎1階と各支所・サービスセンターに投函箱も設置しております。	瓦木公民館
行政	市には女性職員がどれくらいの割合でいるのか。輝く女性、女性活躍というが、公的なところは進んでいない。理想は半半である。	2019年4月1日現在の本市の女性職員の割合は36.1%（1,374人／3,810人）で、課長級以上の管理職の割合は13.1%（47人／360人）です。 職員採用試験においては、性別による受験の制限は設けておらず、評価項目においても男女で異なることのないよう客観化し、公正な競争試験を実施してまいります。また、女性の働きやすい勤務環境の整備に留意し、職務遂行能力や職務に対する適性、仕事に対する意欲等を総合的に判断し、管理職への登用を図ってまいります。	瓦木公民館
行政	人口が増えていない。人口が増える対策をもっと考えるべきである。	我が国は既に人口減少社会に突入しており、本市においてもそれは例外ではありません。本市の人口は平成28年をピークに減少に転じており、今後人口減少が進むとともに、高齢化率が上昇すると予測しています。 これまで本市では、「まち・ひと・しごと創生法」の趣旨の下、平成27年度に「西宮版総合戦略」を策定し、地方創生の取組を推進してまいりました。今後は、令和元年度を初年度とする第5次西宮市総合計画の下、その取組を更に進めていきたいと考えています。	瓦木公民館
行政	コスト意識、費用対効果、スピード感、市政にはこの3点で違和感がある。市では不祥事が多い。市政改革はボトムアップよりトップダウンでやらないといけない。明石市のように取り組んで欲しい。	行政運営にあたっては、常に機能的で効率的な組織及び運営の実現に努め、最小の経費で最大の効果をあげるよう努めてまいります。また、信頼される市役所・職員であり続けるため、透明性の確保や十分な説明責任を果たすとともに、高い倫理をもって職務に臨み、風通しの良い組織風土が実現できているか常に見直してまいります。	鳴尾中央センター
行政	少子化で施設の統廃合が出てくる。民間では塩漬けにすることは考えられない。高須では10年かかっている。休園でも決定してから2～3年あるのだから、青写真は描けるだろう。スピード感、コスト意識がない。	老朽化が進む公共施設が、今後、次々に更新時期を迎えることや、少子高齢化の進展等に伴う社会情勢の変化により、財政状況は一層厳しさを増していくことが予測されることから、財政負担の平準化やトータルコストの縮減を図るため、長寿命化によるもののほか、集約化や複合化、転用、廃止など施設の特性に応じた保全・再編計画の策定について検討を進めていくこととしております。	鳴尾中央センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
行政	<p>総合計画における鳴尾地区の人口推計値だと、前年に比べ令和2年に2000人も減っているが、1年でそんなに少なくなるとは考えられない。もし実際に減るのであれば、水道料金を5年間無料にするなど、新婚世帯を招き入れる施策をとってほしい。</p>	<p>本市の将来人口推計は、日本全国の将来人口推計を行っている国立社会保障・人口問題研究所の推計方法に準拠しており、平成27年に実施された国勢調査の数値が基となっております。その性質上、調査年より年数が経過するにつれ確度が下がる傾向にあり、対象地域を限定して推計した場合、そのことがより顕著に表れることがあります。</p> <p>しかしながら、鳴尾地域は北部地域と同様、市内でも人口減少傾向が先行している地域であるとの認識に変わりはありません。地域の活力の維持のためには継続的に若い世代に選んでもらえるようなまちづくりが必要であり、そのための取組をソフト・ハードの両面から検討してまいります。</p>	鳴尾中央センター
行政	<p>選挙公約ではwifi環境の整備というのがあった。災害時は情報の伝達、獲得が大事である。公民館グループで携帯wifiを貸してもらえらるが、20人でつなぐと容量オーバーで使えないので予算化してほしい。令和元年度の予算でどうなっているのか。公民館は必ず避難所になる。</p>	<p>公民館では、学習に必要な用具・器具等として市で整備するもの、利用される市民の方にご用意いただくものがあり、現在Wi-Fiルーターは、主催事業である情報関連学習事業を行う上で貸し出しを含め運用しております。今後、学習に必要な備品・設備等の予算化を含め一定整理をする必要があると考えております。</p> <p>一方、市では市民サービスや施設の利便性の向上、災害時の利用のためにも、他市の先進事例を調査し、本市に合うWi-Fiの設置場所や利用目的を庁内で協議しながら検討しております。</p> <p>各施設管理者など関係部門の意見を取り入れた統合的な基盤とすべく、来年度以降の設置、順次拡大に向けて庁内調整を行っているところであります。</p>	香榎園市民センター

平成31年度春期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
その他	消防局にも伝えたが、甲子園浜の消防訓練施設を使って西宮市をPRしてどうか。湾岸高速から見えるように「ようこそ西宮市へ」反対は「火の用心」と看板等を掲げてはどうか。	消防訓練施設では、様々な災害状況を想定して訓練を実施しており、看板等を設置することで訓練の支障になることが懸念されるため、看板等の設置は困難と考えます。	鳴尾中央センター
その他	国道43号線の南北に防災緑地がある。これは排ガス対策で設けられたものであるが、排ガス対策が解消されてきているなか、国土交通省に体を動かせる場所にしてもらえないか、と伝えたところ、国土交通省は利用して良いと言った。市の理解を得て自治会管理で子供、老人の遊び場にと進めていたが、「近隣住民の100%の同意を取ってほしい」と言われ、一部の人の反対で中止せざるをえなくなった。	国道43号の環境防災緑地は、沿道環境改善や延焼防止等の防災機能の向上を目指して国土交通省が整備に取り組んでいるものであり、通常は植栽した敷地をフェンスで囲み、国により閉鎖的に管理されていますが、条件が整えば地域の自治会等が管理する一般解放された空間として利用することも可能となっております。 なお、一般開放に際しては、「自治会等の組織内での十分な周知や近接する居住者との合意形成」および「自治会による日常管理の実施」などが必要となります。 ご理解いただきますようお願いいたします。	香櫨園市民センター